

ボランティア活動中の事故に備える保険

～自分のケガ、賠償責任に対応～

安心してボランティア活動ができるように、活動中の自身のケガや他者や物の賠償に対応するボランティア保険があります。万が一に備え年間加入（年度内補償）をお勧めしています。

プラン	保険料(一人あたり)
基本プラン	350円
天災・地震補償プラン (基本プラン+地震・噴火・津波)	500円

第3次地域福祉活動計画策定

五所川原市地域福祉活動計画策定委員会での協議が終了し、藤田智久委員長と高杉勝彦副委員長から、協会会長へ素案が答申されました。

この計画は、市民が主体となって、地域福祉の推進を目的として策定する民間の活動・行動計画です。第2次計画の振り返りや市民アンケートの調査結果、地域住民の意見等をもとに、作業部会及び策定委員会を重ね、審議・検討してまいりました。今後、社協理事会・評議員会での承認を経たのち、新年度から5か年の計画として新たにスタートする予定です。



ありがとう

(敬称略)

■寄付金

- 松緑神道大和山 五所川原教区 30,000円
- 五所川原中央ライオンズクラブ 82,600円
- つがる逍遙会 30,000円

■物品

- 寺田 梅子 めいぐるみ、クレヨン
- 明治安田生命 五所川原営業所 めいぐるみ他

■アルミ缶・プルタブ等

- 五所川原
荒谷美子、石田翔、石田頌馬、一戸秀子、小野勝義、うめたふれあいセンター、うめたグループホーム、笠井達徳、木村キヌエ、クリーニングサンみわ、五所川原みなみスポーツ少年団、古川有吾、斉藤真紀子、栄小学校、佐々木愛子、島谷修一、神やさ、寺田梅子、濱田浩平、三浦トシ、明治安田生命五所川原営業所、夢の森ラッキー、米谷美智子、ラ・プリマベラ



▲五所川原中央ライオンズクラブ会長山口孝夫様クリスマスチャリティーオークションの益金全額を寄付して頂きました。早速、地域福祉活動発展のために活用させていただきます。いつもありがとうございます。



▲地域の組合員さんに呼びかけ集まった女性用品等を届けてくださいました。(生活協同組合コープあおもり浪岡センター・五所川原地域)

■金 木

浅利勝義、荒井春美、川島文一、木村武則、木村弘子、木村みゆき、黒川タカ、古川敏夫、佐藤美知子、田中豊忠、津島マツエ、津島伸幸、長尾典子、長尾匡時、中野又工子、中谷勝治、金木誠彦、喜良市婦人会、県猟友会金木支部、五所川原市役所金木総合支所、津島ふとん店

■市 浦

相川勢子、小野由紀子、さくらの会、奈良つみ江



▲みなみスポーツ少年団部員達に声掛けし、約1ヵ月集めたプルタブを届けてくれました。



▲栄小学校長年、JRC委員会の活動として、全校生徒で1年間に渡って集めたものです。

■子ども宅食へ寄付

- (株)裕健 ひなた薬局 食器用洗剤64本
- 生活協同組合コープあおもり浪岡センター 五所川原地域 女性用品、マスク他37kg
- 天理教西北1支部 春雨3袋他食品3kg
- 匿名 洗濯洗剤6本、固形石鹸1箱他日用品
- 法永寺 箱菓子3箱、食器用洗剤10本他飲料品

～収集ボランティアの成果～

『1年間で33,747円相当に』

皆さんから寄付頂いたプルタブやアルミ缶は、専門の業者さんで換金していただき、車イスや貸し出し用ベッドの修理やメンテナンスの際に役立てさせていただいております。換金額は1kg80円～100円になります。30,000円の車イスを購入するなら、約375kg必要!

令和5年度の収集ボランティアの換金額

プルタブ・アルミ缶等	16,396円
エコキャップ	17,351円
(ワクチン 867人分)	

たくさんのご協力ありがとうございました。

各種印刷物・デジタルコンテンツにおける企画・デザイン・制作から製版・印刷・製本

地域文化と価値創造の接点。



【本 社】五所川原市金山字亀ヶ岡46-7 TEL 0173(34)4487・FAX 0173(34)4459
URL http://www.artprt.co.jp E-mail net@artprt.co.jp
【つがる支店】つがる市木造千代町42 TEL 0173(42)1245・FAX 0173(42)8085

私たちは、この住み慣れた地域で、高齢になっても、障がいをもって、自分らしく、安心して、一人の人間としての尊厳を大切に暮らすことに貢献します。

株式会社 五所川原ケアセンター

認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護『高齢者グループホーム憩いの家』
小規模多機能型居宅介護『ケアホームのりた』『ふれあいホームいこい』
居宅介護支援『ケアセンターいこい』

総合相談受付 TEL 34-4856 ケアホームのりた(事務本部)



社協ごしよがわら

令和6年
4月号

■編集・発行/社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会 電話 0173-34-3494 FAX 0173-35-5855
〒037-0065 五所川原市字幾世森218番地6 URL http://gccsw.net/ E-mail gccswg@gccsw.net
■金木支所・電話 0173-53-2241 ■市浦支所・電話 0173-62-3285

65歳
からの

社会参加と健康づくり

『アクティブシニアポイント事業・登録受付中』



高齢者の積極的な社会参加で健康の維持を促す「五所川原市アクティブシニアポイント事業」本会では、昨年夏の事業開始以降、広がる関心に応じて活動先メニューの拡大や研修会を開催して、参加登録を随時受付中です。

研修会 (会員登録)

社協で開催する研修を受けてから、まず会員登録申請し、ポイント手帳をもらおう。



日程を決める 施設等へ電話

施設等へ連絡し、活動日程を決める



実践 ボランティア

ボランティア先の説明をきき、ボランティア実践



デイサービス事業所で利用者と一緒にゴニカンを楽しむボランティア



活動先は、健康教室の会場準備や福祉施設に出向いて利用者のおしゃべりやゲーム参加、おやつ時間の飲み物準備、異世代交流など多様な中から、自分に合ったものを選び、暮らしに合わせて参加日程を決めるため、無理なく続けられます。

登録した会員は、「自分ができていることで周囲の役に立ち、暮らしの張りになる」「おしゃべりが好きなので、お話し相手の活動を選んだ。スタンプが増えるのも面白い」と活動の楽しみを生き生きと話しました。

研修会 開催予定日

4月22日(月)	5月20日(月)	6月24日(月)
7月22日(月)	8月26日(月)	9月25日(水)
10月21日(月)	11月20日(水)	12月23日(月)
1月27日(月)	2月26日(水)	3月24日(月)

- 場所：生き生きセンター ●時間：10：30～12：00
- 会員登録には、受講が必要です。希望日の5日前までに電話等でお申し込みください。

スタンプを いただく

1時間1ポイントでスタンプを頂く。(1日2ポイントまで)



来 年 2 月 ポイント 交換

来年2月ポイント交換申出する。(商品券が届く)



この広報は、皆様からお寄せいただいた共同募金助成金の一部を活用して発行しています

能登半島地震被災者のために 三輪小などが募金活動

団体・個人から
続々22万円超
を被災地へ

☆三輪小学校JRC委員会(外崎委員長)は、全校児童と教職員などに呼びかけた募金27,212円を、五所川原市共同募金委員会に届けました。(写真上)



活動の動機について、3月期の委員会では元日の地震被害が話題になり、「自分たちができる活動として『被災地の子供に希望のバス』を掲げてチラシを作って取り組んだ」と委員長が話し、佐々木副委員長は「呼びかけに協力してもらえてうれしかった」と活動を振り返りました。

☆五所川原市ボランティア連絡協議会やfamily cafeあづまーる等の団体による募金活動を、ユニバース五所川原東店の活動場所提供を得て2月23日に行いました。(写真下)五所川原第一高等学校「じゃわめき隊」の皆さんや五所川原市立高等看護学院生徒と教員が、募金を呼びかけると、「募金の機会ができて良かった」「少しですけど」と話しながら、老若男女問わずたくさんのお客から、総額64,423円が寄せられました。参加した看護学生は、募金している様子を見て「助け合いの気持ちや姿がうれしい」と楽しそうにボランティアをしていました。



この募金活動に併せて、family cafeあづまーるは、ユニバース(株)から寄贈されたポップコーン機械お披露目をしており、お客様にポップコーンを振舞いました。

☆長橋地区社会福祉協議会(土岐泰教会長)は、2月17日にコミセン長橋で開催した「小正月のつどい」で募金を呼びかけ、参加者や模擬店出店者らから寄せられた善意5万円を寄せました。

これらの募金は、五所川原市共同募金委員会が窓口になり青森県共同募金会を通じて、被災された皆様にお届けします。

「災害時の助け合い＝日頃の近所付き合い」

食料備蓄 目安は1週間分

2月24日(土)に開催した防災研修に64名が参加しました。

自主防災会あおぞら組高谷津草氏は、能登半島地震と東日本大震災の避難中の困難や、津軽の過去の地震被害を話題に、「災害は避けられないが、普段の近所付き合いの強さが被害を軽減し、安心感、共助の力になる」と語りました。

災害発生時は①自分の命は自分で守る ②家族との連携 ③日頃の近所付き合い等を活かした連携活動を始める。食べ物の支給や内容も課題で、能登半島地震では食料が4日後に届いた例を考慮すれば、各家庭が1週間分を想定したローリングストックによる備蓄が有効だと紹介した。

ローリングストック=日常的に使う食品を多めに保管し、使いながら補充していく



自主防災会あおぞら組
高谷 津草氏



菊池 義孝氏

生活支援コーディネーターの菊池義孝氏(南広田町内会長)は、住民が週に1回集会所に集まり、お茶飲みや脳トレ、おしゃべりなどで交流しているサロンの効果を紹介。住民の少しのアイデアや希望で参加者が増えている実例に、参加者は安心して暮らす地域のつながりづくりのヒントを得ていました。



初めての非常食作りに戸惑う参加者

～支えあう 住みよい社会 地域から～

各地域の「民生委員・児童委員」をご存じですか?
「一人で悩まず、お気軽にご相談ください。」

- 民生委員・児童委員とは?——
- 厚生労働大臣から委嘱された守秘義務を持つ特別地方公務員です
 - 無報酬で活動しているボランティアです
 - 地域住民の身近な相談相手であり、専門機関へのつなぎ役です

- 主な活動の例——
- 地域住民のお宅を訪ね、安全安心に生活できているか訪問活動
 - 地域住民の集いの場や居場所づくりなどサロン活動
 - 子ども達の登下校時の見守りや挨拶運動

生活の不安や子育てに悩んでいる、病気やけがで生活に困っているなど、お一人で悩まずに、お気軽に民生委員・児童委員にご相談ください。地域ごとに担当の委員が決まっています。

委員の氏名や連絡先については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先…五所川原市民児連協事務局(五所川原市役所福祉政策課内) 35・2111内線2492

こども宅食 おすそわけ便

さまざまな理由で、生活に困りごとや悩みを抱えながらも、懸命に子育てをしている世帯に定期的に食品や生活用品などの配布でつながり続けるこども宅食おすそわけ便事業、利用する約500世帯からは、「大変助かっている」「物価高騰で家計が苦しいなか、毎回いろいろ頂けて感謝しています。」「こどもがいつも楽しみにしています」などの感想が届いています。

この事業により顔を合わせる機会が増えたことで自発的に悩みを打ち明けやすくなり、その人に寄り添った個別支援にもつながっています。



2月17日はポップコーンをプレゼント



生協の利用会員が寄せた女性用品を配布

令和6年度おすそわけ便開催予定日です。

4月27日(土)、6月29日(土)、8月24日(土)、
10月26日(土)、12月14日(土)、2月22日(土)

配布する食品などは、市内外の個人や団体から寄付に支えられています。
左の写真は、その一例です。
お米は、特に必要とされています。

LINE アカウント
ID: @977hdwqw
おすそわけ便のQRコード



ゲームやサンパ で熱い冬! 子ども達と ゲーム交流しました

2月10日(土)五所川原市地域福祉センターにて、福祉施設の児童、地域の児童と住民約50名が集まり、ゲームやダンスで交流しました。ストラックアウト等のゲームコーナーでは、子ども達が普段体験できない遊びを楽しみ、「当たったー!」「おしい!」という歓喜の声が飛び交っていました。また、ダンスとゲームを組み合わせた「マツ・ケンサンパ玉入れ」では、カゴに玉を入れても最終的にはダンスの振動で玉が落ちる様子を見て「なんだよ〜!」と言いながらも笑顔で踊っていました。ダンス終了後、子ども達にインタビューをすると「一生懸命に玉を入れてもカゴから飛び散るのは詐欺だ(笑)!!」「マツ・ケンとダンスしたのが楽しかった!」という感想が聞かれ、笑顔が溢れたイベントとなりました。



マツ・ケン冬のサンパ玉入れ



ターゲットゲーム

電気のこと 暮らしのこと
お宅の困ったは貴方承ります

マルエーデンキー一番館
つがる市柏稲盛171 TEL 0173 (27) 5101

丸英設備 株式会社 丸英でんき
〒037-0056 五所川原市東広30-43 TEL 0173-35-0103